

(旧)

準用する写真管理基準

【第3編 工事共通編】				
章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3節 共通の工種	3-3-14コンクリート面塗装工			17
第4節 基礎工	3-4-1一般事項	切込砂利		17
		碎石基礎工		17
		割ぐり石基礎工		17
		均しコンクリート		17
	3-4-3基礎工(護岸)	現場打		17
		プレキャスト		17
	3-4-4既製杭工	既製コンクリート杭		18
		鋼管杭		18
		H鋼杭		18
	3-4-5場所打杭工			18
	3-4-6深礎工			18
	3-4-7オープンケーソン基礎工			18
	3-4-8ニューマチックケーソン基礎工			19
	3-4-9鋼管矢板基礎工			19
第5節 法面工	3-5-2法面整形工	盛土部		19
	3-5-3法枠工	現場打法枠工		19
		現場吹付法枠工		19
		プレキャスト法枠工		19
	3-5-6吹付工	コンクリート		19
		モルタル		19
	3-5-7植生工	種子散布工		20
		張芝工		20
		筋芝工		20
		市松芝工		20
		植生シート、マット工		20
		植生筋工		20
		人工張芝工		20
		植生穴工		20
		植生基材吹付工		20
		客土吹付工		20
第6節 石・ブロック積(張)工	3-6-3コンクリートブロック工	コンクリートブロック積		20
		コンクリートブロック張り		20
		連節ブロック張り		20
		天端保護ブロック		20

準-2

(新)

準用する写真管理基準

【第3編 工事共通編】				
章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3節 共通の工種	3-3-14コンクリート面塗装工			17
第4節 基礎工	3-4-1一般事項	切込砂利		17
		碎石基礎工		17
		割ぐり石基礎工		17
		均しコンクリート		17
	3-4-3基礎工(護岸)	現場打		17
		プレキャスト		17
	3-4-4既製杭工	既製コンクリート杭		18
		鋼管杭		18
		H鋼杭		18
		鋼管ソイルセメント杭		18
	3-4-5場所打杭工			18
	3-4-6深礎工			18
	3-4-7オープンケーソン基礎工			18
	3-4-8ニューマチックケーソン基礎工			19
	3-4-9鋼管矢板基礎工			19
第5節 法面工	3-5-2法面整形工	盛土部		19
	3-5-3法枠工	現場打法枠工		19
		現場吹付法枠工		19
		プレキャスト法枠工		19
	3-5-6吹付工	コンクリート		19
		モルタル		19
	3-5-7植生工	種子散布工		20
		張芝工		20
		筋芝工		20
		市松芝工		20
		植生シート、マット工		20
		植生筋工		20
		人工張芝工		20
		植生穴工		20
		植生基材吹付工		20
		客土吹付工		20
第6節 石・ブロック積(張)工	3-6-3コンクリートブロック工	コンクリートブロック積		20
		コンクリートブロック張り		20
		連節ブロック張り		20
		連節ブロック張り		20

準-2

2-3 ICT活用工事

ICT活用工事の出来形管理を行った場合の出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、愛知県の定める「ICT活用工事(土工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工(修繕工))実施要領」、「ICT活用工事(河川浚渫)実施要領」、「ICT活用工事(作業土工(床堀))実施要領」、「ICT活用工事(付帯構造物設置工)実施要領」、「ICT活用工事(法面工)実施要領」、「ICT活用工事(地盤改良工)実施要領」、「**ICT活用工事(土工1000m³未満)実施要領**」、「**ICT活用工事(小規模土工)実施要領**」、「ICT活用工事(構造物工(橋脚・橋台))実施要領」、「ICT活用工事(基礎工)実施要領」、「ICT活用工事(擁壁工)実施要領」、「ICT活用工事(コンクリート堰堤工)実施要領」、「ICT活用工事(浚渫工(港湾))実施要領」、「ICT活用工事(基礎工(港湾))実施要領」、「ICT活用工事(ブロック据付工(港湾))実施要領」及び「ICT活用工事(海上地盤改良工:床掘工・置換工編(港湾))実施要領」の規定によるものとする。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等(土木工事現場必携第6章資料6-37公的機関等一覧表参照)で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について』(平成29年3月1日付け、28建企第505号)に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と**協議**の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-3 ICT活用工事

ICT活用工事の出来形管理を行った場合の出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、愛知県の定める「ICT活用工事(土工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工(修繕工))実施要領」、「ICT活用工事(河川浚渫)実施要領」、「ICT活用工事(作業土工(床堀**工**))実施要領」、「ICT活用工事(付帯構造物設置工)実施要領」、「ICT活用工事(法面工)実施要領」、「ICT活用工事(地盤改良工)実施要領」、「ICT活用工事(構造物工(橋脚・橋台))実施要領」、「ICT活用工事(基礎工)実施要領」、「ICT活用工事(擁壁工)実施要領」、「ICT活用工事(コンクリート堰堤工)実施要領」、「ICT活用工事(浚渫工(港湾))実施要領」、「ICT活用工事(基礎工(港湾))実施要領」、「ICT活用工事(ブロック据付工(港湾))実施要領」及び「ICT活用工事(海上地盤改良工:床掘工・置換工編(港湾))実施要領」の規定によるものとする。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等(土木工事現場必携第6章資料6-37公的機関等一覧表参照)で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について』(平成29年3月1日付け、28建企第505号)に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と**協議**の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	4 基 礎 工	4		既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	全数量 〔打込後〕	
						根入長	1 施工箇所につき1回 〔打込前〕	
						数量	全数量 〔打込後〕	
						杭頭処理状況	1 施工箇所につき1回 〔処理前、中、後〕	
			5		場所打杭工	根入長	全数量 〔施工中〕	
						偏心量	全数量 〔打込後〕	
						数量、杭径	全数量 〔打込後〕	
						杭頭処理状況	1 施工箇所につき1回 〔処理前、中、後〕	
						鉄筋組立状況	1 施工箇所につき1回 〔組立後〕	
			6		深礎工	根入長	全数量 〔掘削後〕	
						偏心量 数量、基礎径	全数量 〔施工後〕	
						ライナープレート 設置状況	1 施工箇所につき1回 〔掘削後〕	
						土質	土質の変わる毎につき1回 〔掘削中〕	
						鉄筋組立状況	全数量 〔組立後〕	
			7		オープンケーソン基礎工	杓	1 基毎につき1回 〔据付後〕	
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1 ロット毎につき1回 〔設置後及び型枠取外し後〕	
						載荷状況	1 基につき1回 〔載荷時〕	
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1 基につき1回 〔施工時〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	4 基 礎 工	4	1	既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	全数量 〔打込後〕	
						根入長	1 施工箇所につき1回 〔打込前〕	
						数量	全数量 〔打込後〕	
						杭頭処理状況	1 施工箇所につき1回 〔処理前、中、後〕	
				2	既製杭工 (鋼管ソイルセメント 杭)	偏心量(鋼管杭・ 掘削心)	1 施工箇所につき1回 〔打込後〕	
						根入長(鋼管 杭、ロット)	1 施工箇所につき1回 〔打込前〕	
						数量、杭径(ソ イルセメント柱 径)	全数量 杭頭余盛部の撤去前、 杭頭処理後	
						杭頭処理状況	1 施工箇所につき1回 〔処理前、中、後〕	
			5		場所打杭工	根入長	全数量 〔施工中〕	
						偏心量	全数量 〔打込後〕	
						数量、杭径	全数量 〔打込後〕	
						杭頭処理状況	1 施工箇所につき1回 〔処理前、中、後〕	
						鉄筋組立状況	1 施工箇所につき1回 〔組立後〕	
			6		深礎工	根入長	全数量 〔掘削後〕	
						偏心量 数量、基礎径	全数量 〔施工後〕	
						ライナープレー ト設置状況	1 施工箇所につき1回 〔掘削後〕	
						土質	土質の変わる毎につき1回 〔掘削中〕	

(旧)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	9 地 盤 改 良 工	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回 〔施工後〕		
			3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕		
			5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕		
			6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1 施工箇所に1回 〔施工後〕		
			7		バーチカルドレーン工 （サンドドレーン工） （ペーパードレーン工） （袋詰式サンドドレーン工）	打込長さ 出来ばえ	200㎡又は1 施工箇所に1回 〔打込み前後〕		
						杭径 位置・間隔	200㎡又は1 施工箇所に1回 〔打込後〕		
			8		締固め改良工 （サンドコンパクション パイル工）	砂の投入量	全数量 〔打込前後〕		
			9	1	固結工 （粉体噴射攪拌工） （高圧噴射攪拌工） （スラリー攪拌工） （生石灰パイル工）	位置・間隔 杭径	1 施工箇所に1回 〔打込後〕		
						深度	1 施工箇所に1回 〔打込前後〕		
								ただし、（スラリー攪拌工）において、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）固結工（スラリー攪拌工）編」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。	
			2		固結工 （中層混合処理）	施工厚さ 幅	1,000㎡～4,000㎡につき1回、又は工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		
			12 仮 設 工	5	1	土留・仮締切工 （H鋼杭） （鋼矢板）	変位 根入長	40m又は1 施工箇所に1回 〔打込前〕	
							数量	全数量 〔打込前後〕	

(新)

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要		
						撮影項目	撮影頻度 (撮影時期)			
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	9 地 盤 改 良 工	7	8	バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクション パイル工)	打込長さ 出来ばえ	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔打込み前後〕			
						杭径 位置・間隔	200㎡又は1 施工箇所に1 回 〔打込後〕			
						砂の投入量	全数量 〔打込前後〕			
			9	1	固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1 施工箇所に1 回 〔打込後〕			
						深度	1 施工箇所に1 回 〔打込前後〕			
							ただし、(スラリー攪拌工) において、「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 固結工(スラリー攪拌工)・バーチカルドレーン編」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。			
		12 仮 設 工	5	1	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000㎡～4,000㎡につき1 回、又は工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1 回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕 ただし、「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		
			12 仮 設 工	5	1		土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1 施工箇所に1 回 〔打込前〕	
								数量	全数量 〔打込前後〕	
					2		土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ	1 施工箇所に1 回 〔削孔後〕	
配置誤差	1 施工箇所に1 回 〔施工後〕									